

お知らせ

夏休み期間は毎日開館！ 7月13日(水)～9月5日(月)の期間は毎日開館します。

レンタルグッズ

レンタルグッズ	料金
長靴	¥500
スノーシュー (冬期間のみ・大人)	¥1500
スノーシュー (冬期間のみ・子供)	¥1000

令和4年4月19日より一部のレンタル料金を改定しました。

- ・貸出時間はビジターセンター開館～閉館まで(クマ鈴以外)。
- ・日付をまたいだレンタルはできません。

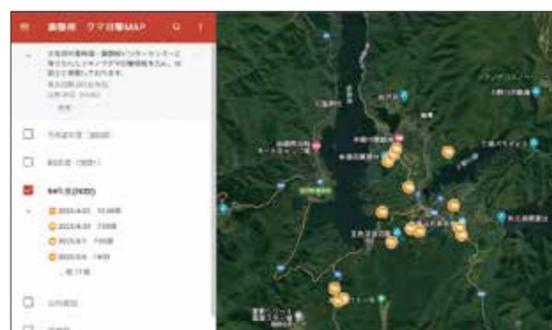
クマ鈴のレンタル

レンタル料金	補償金
¥100	¥1000



- ・五色沼周辺の3施設(ビジターセンター、観光協会、物産館)で共通のクマ鈴を貸出しています。
- ・上記3施設のどこでも返すことができます。
- ・日付をまたいだレンタルはできません。

ツキノワグマの目撃情報を公開中！



お問い合わせは「北塩原村農林課」まで tel 0241-23-1334

イベント情報

雪室見学

本館のとなりに、エコな冷房のために雪を貯蔵している「雪室」があります。ご覧になりたい方は、スタッフにお声がけください。

受付時間：随時
参加費：無料
所要時間：5分～10分



ぬりえ

ぬりえがあたりになりました。外来種についてのクイズに答えると、景品プレゼント！お気軽にスタッフまでお声がけください。

受付時間：随時
参加費：無料
所要時間：5分～



磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峯 1093-697
【電話】0241-32-2850 【FAX】0241-32-2851 【ウェブサイト】http://www.urabandai-vc.jp/
【入館料】無料 【開館時間】9:00～17:00(4～11月) / 9:00～16:00(12～3月)
【休館日】毎週火曜日(祝祭日のときはその翌日、年末年始・GW・夏休み期間は無休)



ウェブサイト



Instagram

裏磐梯だより

No.114

2022年7月



磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

「モリアオガエル」

初夏にビジターセンター周辺の池や沼で樹木の枝先に泡状の卵塊を産みつけます。

1～2週間でオタマジャクシに成長し水中へ落下します。親は下の水面をどうやって確認しているのか興味深いですね。



裏磐梯図鑑 No.29

甲の薬は乙の毒 アサギマダラ

自然解説員の巡視日記

雄国せせらぎ探勝路

ようこそビジターセンターへ

卵塊を展示しました！

甲の薬は乙の毒 アサギマダラ

旅をする動物といえば、多くの方はツバメなどの渡り鳥や、クジラやサケなどの海を旅する動物を想像するかと思います。裏磐梯には、小さな体で2000kmもの長距離を旅するチョウが毎年やってくることをご存じでしょうか。



撮影 2011.8

浅葱色の人気者

毎年8月初旬ごろ、西大嶺の中腹にあるヨツバヒヨドリという植物のお花畑に、淡い水色に、暗い赤茶色で縁取られた翅を持つ大型のチョウが飛来します。アサギマダラです。アサギというのは翅の淡い水色のことで、漢字では「浅葱」と書きます。ネギの葉の色を薄めたような色という意味で、新選組のだんだら羽織の色として有名ですね。

アサギマダラは、タテハチョウ科に属する、アゲハチョウより少し大きめのチョウです。日本全国で見られ、海外でも本種やいくつかの亜種が、台湾やヒマラヤなどで見られます。

アサギマダラの特徴といえはなんとといっても日本列島を横断するほどの長距離移動をすることでしょう。渡り鳥の夏鳥と同じように、世代交代をしながら夏に南から裏磐梯へやってきて、秋ごろ南へ渡っていきます。

冬は西日本～茨城県南部以南あたりで、幼虫で越冬し、成虫となった春～初夏に北を目指して飛んでいきます。最長で、和歌山県から高知県を經由し、香港までの約2423kmの距離を移動したという記録もあるそうです。

暑いのが苦手？

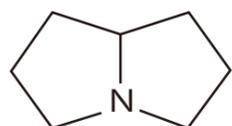
アサギマダラはいったいどうしてこんな長距離を移動するのでしょうか。考えられる理由としては、①アサギマダラは暑いのも寒いのも苦手、②マダラヤドリバエというアサギマダラの幼虫に寄生する寄生虫を避けるため、③ヨツバヒヨドリなどの特定の植物の開花時期に合わせて移動するため、などがありますが、詳しくは分かっていません。

西大嶺の中腹に群生するヨツバヒヨドリは、キク科の植物で7月下旬から9月上旬に薄ピンク色の花を咲かせます。アサギマダラはこの花に集まり盛んに給蜜しますが、蜜なんてどの花から吸ってもいいじゃないの？とも思います。

実は、ヨツバヒヨドリやフジバカマなどの特定の植物は、ピロリジジナルカロイドという毒を持っており、アサギマダラはこの毒を、繁殖に使うフェロモンの材料としているため、この毒を持つ花に優先的に集まるのです。また、この毒は、体内にためておくことで捕食者から身を守る武器にもなります。

アサギマダラが、日本列島を横断するほどの長距離移動をできるのも、この毒が身を守ってくれるおかげかもしれません。

今年の夏はアサギマダラに会い、ちょっと旅をしてみたいはかがでしょうか。



ピロリジジナルカロイド類は、左図のような共通の構造(ピロリジジン環)を含むアルカロイド(植物が作る窒素(N)を含む天然物質)の総称で、非常に多くの種類があることが知られています。

農林水産省 HP より引用：
食品中のピロリジジナルカロイド類に関する情報

自然解説員の巡視日記 雄国せせらぎ探勝路



雄国沼に行くには、図にあるように裏磐梯側からの3つの探勝路と喜多方側の金沢峠からのコースがあります。ここでは、雄子沢川に沿って歩く「雄国せせらぎ探勝路」をご紹介します。早春は残雪と新緑のブナ、初夏は休憩舎周辺のレンゲツツジや雄国沼湿原の可憐な花々、夏は涼やかな沢音とブナのつくる緑陰、秋は色鮮やかな紅葉と枯草色の湿原、そして、雪と氷に閉ざされた冬の風景。1年を通して、その時々素晴らしい景色に出会えるコースです。

探勝路の入り口「雄子沢口」(標高875m)から雄国沼の畔に建つ「雄国沼休憩舎」(標高1090m)まで片道約3.3km、ブナ林の中を緩やかな登りが続きます。途中、所々で小さな沢を横切ったり、ぬかるみもあります。また、木の根や岩が露出している所もあるので、サンダルや街歩き用のスニーカーなどで歩くのはやめましょう。探勝路沿いの植物や鳥などを楽しみながらゆっくり歩いても1時間30分ぐらいで休憩舎に到着します。荒天時、風雨を避けて休憩や食事ができるのも、この探勝路の良いところです。

休憩舎から雄国沼湿原の入り口まで片道約1.4km、湿原の木道是一周約800mなので、木道を回って戻ってくるには約1時間かかります。

今年度から、喜多方～裏磐梯間の路線バスの本数がとても少なくなったので、「雄国せせらぎ・雄国パノラマ探勝路」を利用したの入下山は、事前に十分な情報確認を行ってください。

ようこそビジターセンターへ 卵塊を展示しました！



ビジターセンターの目の前にある池からヤマアカガエルとクロサンショウウオの卵塊を拝借し、孵化するまで展示しました。同時にモニターで流していた、クロサンショウウオの産卵の映像と実物の卵塊を比べてみたり、ヤマアカガエルの胚発生が進んでいく様子を観察したりと、ご来館のお客様にはおおいに楽しんでいただけたようです。

現在は孵化が始まってしまったため、卵塊の展示はしてありませんが、その季節にみられる裏磐梯の動植物を展示や解説を行っていく予定です。

皆様のお越しをお待ちしております。

6月末現在
ナミゲンゴロウがいます！

